

スーツ、ジャケット、色々なアイテムがありますが、中でもコートは『使う生地量』が最も多く『生地そのものを纏っている』と言っても過言ではありません。即ち経営者のコート選びを考える上で最優先すべきは『生地を厳選する』ことにあります。

また以前イタリア人に言われたことで印象的な言葉があります。

『コートは防寒だけのものではない。ホテルやレストランのクロークに預ける時のことも考えなくてはならない。』

だからステイタスシンボルとしてふさわしいものを着ていなくてはいけないんだ。

寒ささえしのげれば何を着ていてもかまわない、という考え方は本当の紳士ではない。』

そこで私が考える『コート選びの3つの極意』は

生地にこだわる

ビジネスコートとカジュアルコートは
明確に分ける

使い回しを考え
最低でも3着のコートを持つ

の3つです。コートにも様々な種類があり何を選べばよいのか分からない方も多いのではないかと思います。

そこで今月号の『ニュースレター』では『3つの質問』から最も相応しいコートを導き出したいと思います。

早速右の3つの質問に答えてみてください！

質問1

ビジネス向け、カジュアル向けどちらをお探しですか？

『ビジネス向け』
を選ばれた方

『カジュアル向け』
を選ばれた方

質問2

下記の中から当てはまるものをお選びください！

- 冠婚葬祭からビジネスまで『幅広く』着たい
- 『正統派』の着こなしを求める
- 大人の『品格、余裕』を感じさせたい
- コートにも少し『遊び感覚』が欲しい
- 会社に『手ぶら』でいきたい

質問3

下記の中から当てはまるものをお選びください！

- 休みの日も『上品』な感じ
- 『ジャケット感覚』でコートを着たい
- とにかく『暖かさ』を求めたい

6 7 8
を選ばれた方は
裏面へ！

1 を選ばれた方

2 を選ばれた方

3 を選ばれた方

4 を選ばれた方

5 を選ばれた方

1 シングルチェスターコート

19世紀に英国でチェスターフィールド伯爵が初めて着たと言われている伝統的なコート、冠婚葬祭～ビジネスシーンまで幅広く使うことの出来る、男性のコートの中で最もフォーマルな形です。ジャケットが少し長くなったような形をしています。

エレガントにお召し頂く場合はコートの長さを長く、カジュアルな雰囲気生地であれば膝くらいの丈で仕上げると◎です。黒のカシミアのチェスターコートは一着持っておかれることをオススメします。

コートのフォーマル度は、デザインに左右されるのはもちろんですが『色』も大きな決定要素です。いくらチェスターフィールド型のコートでも、キャメルカラーやライトグレイではフォーマルには着用できませんし、チェスターコート以外でも黒、濃紺、チャコールグレイなどのダークカラーならばフォーマルに着用できますし、日々のビジネスにも十分利用が可能です。



2 ダブルチェスターコート

①のシングルチェスターコートがダブル仕立てになった形。ダブル仕立てになっている以外は全体のシルエットは全く変わりません。襟の形が『ピークドカラー』と呼ばれる先端がとがった形になっており、腰のポケットが『チェンジポケット』と呼ばれるポケットが並行に二個ついている形になっています。

シングルチェスターコートに比べより『クラシックな印象』に仕上がるコートです。



3 バルマカーンコート

略してバルカラーとも呼ばれる形。よく『ステンカラーコート』と呼ばれますが、実はステンカラーという名称は和製英語、スタンドフォールカラーというのが訛って、ステンカラーになったという説が有力です。

そもそもバルマカーンとはスコットランドのある地名です。1850年頃からこの地で着用された、ゆったりとした七分丈ほどの末広がり型のものでそのコートのオリジナルであったとされます。それがシンプルな構造にアレンジされ、タウンコートの代表格として今もなお愛され続けているのです。



4 ポロコート

ポロ競技観戦用のコートとして普及したもので、ダブル仕立てでフレームパッチドポケット、背バンド、折り返し付きの袖口といったディテールが非常に特徴的です。最も本格的なポロコートはキャメルヘアーで仕立てられます。

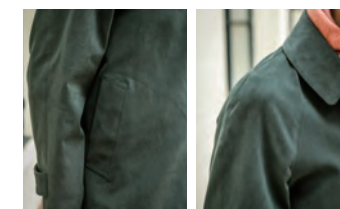


5 ラグランコート

1815年のワーテルローの戦いで右腕を失った英軍ラグラン将軍が、脱ぎ着がしやすいようにと考案された特別な形状の袖のことを、将軍の名前にちなんで『ラグラン袖』と呼ぶようになりました。

普通の袖と違いラグラン袖の場合、前身頃・後身頃ともに襟ぐりから脇の下までが切り取られていて、肩の縫い目がありません。アームホール(袖ぐり)を大きく設定することで、脱ぎ着が飛躍的に楽になるのです。

又中には大きなポケットがついていますので、新聞、財布、携帯電話等手持ちのものを収納することが可能な作りになっています。



チャート式 経営者の
コートの選び方